

令和4年8月22日

プレイスメイキング等の実証実験提案書

活動名	神田駅の東西を繋ぐ上白壁橋通りと神田駅東口大通りのウォーカブルプロジェクト
提案者	鍛冶町二丁目まちづくりを考える会
所在地	千代田区鍛冶町二丁目（対象地：上白壁橋通り・神田駅東口大通り）
活動の目的	対象道路の活用によりウォーカブル化・東西連携を図ると共に防災の意識づけを促す

【概要】 活動の概要、地域課題の内容、収支予定、実施体制、区及び区の関係団体からの補助金の有無などについて、分かる範囲でご記入下さい。

背景と地域課題

- ・ 当地区では2018年度よりまちづくりの検討を進めており、2021年度には「まちづくり基本構想」を作成し千代田区へ報告した。
- ・ 今年度は、ハード・ソフト両面から将来像の実現に向けた活動を推進すべく、ハードとしては鍛冶町二丁目7,8,9番地での再開発事業の検討を、ソフトとしてはプレイスメイキングをはじめとした地域活動の検討を行っている。
- ・ **上白壁橋通り**は神田駅の東西を繋ぐ重要な通りだが、日常的な賑わいには乏しく、地元住民からも活用に向けた声が多く上がっている。
- ・ **神田駅東口大通り**はビジネスマンの利用が多く、通勤時には人通りも多くなるが、歩道は整備されているものの駐車などで歩きにくく危険な場面も見られる。



活動の概要

「まちづくり基本構想」の整備方針に基づき、「神田駅東口の顔となる駅まち一体の核」「東西を繋ぐコミュニティ軸」の形成を目指した活動

上白壁橋通り：JR 線路高架下の通りについて、東西連携や日常的な活用を促す設え（オープンカフェ、ワークスペース、緑の創出、情報発信等）を実験する。

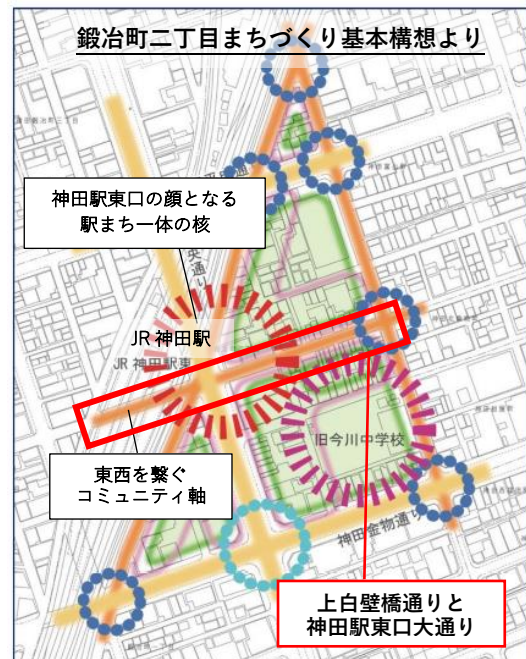
神田駅東口大通り：路上駐車帯での ParkingDay を用いて、“歩きやすく居心地が良い空間”を創出すると共に、沿道の空き家を活用した交流拠点（カフェの出店、防災を意識した日常空間等）を実験的に創出する



上白壁橋通りのイメージ



神田駅東口大通りのイメージ



収支計画

支出：施工費、材料費、什器等の購入費、印刷製本費、広告費、備品費、消耗品費、謝礼金として50万円を活用。

収入：マルシェや情報発信の出店料等を収入とする必要検討。

実施体制

主催：鍛冶町二丁目まちづくりを考える会

その他：町会・商店街、近隣まちづくり、周辺店舗等へ協力、同日開催の企画検討を呼びかけ

【スケジュール】

- ・ 9～11月：実証実験に向けた検討開始。考える会・コアメンバー等で数回の意見交換を行い、企画内容を詰めていく。
- ・ 12月：実証実験実施（予定）